



啓翁桜 啓翁桜は、冬に咲かせることができる桜の一種で、一本の枝に小さくて可憐な花を数多く付けます。山形県は全国一の産地で、中でも置賜地方は主要産地となっています。置賜各地の観光スポットでは啓翁桜を飾り、お客様をもてなしています。(観光振興室)

特集 未来に引き継ぐ取組み ～長年の努力と功績を讃えて～

■平成28年度 山形県「木造建築伝承の匠」知事表彰

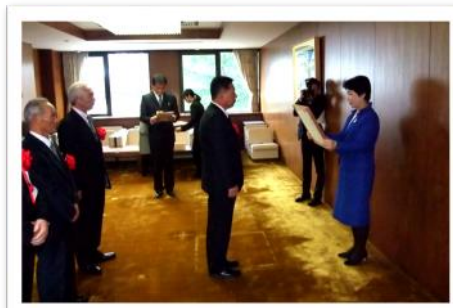
山形県では、木造住宅建築技能者の社会的地位の向上と後継者の育成促進を図るため、木造住宅の建築に高い技能を持ち、かつ、多年にわたり後継者を育成している方々を平成3年から毎年表彰しております。



今年度も各方面からの推薦を基に厳正に審査した結果、遠藤昭一氏(川西町)を含む4名の大工職人が平成28年度山形県「木造建築伝承の匠」として表彰されました。

遠藤氏は、今日まで3人の弟子を育成するとともに川西町建設組合の役員を務めるなど、木造住宅建設業界の発展に寄与されています。

記念撮影(左端が遠藤氏)



表彰を受ける遠藤氏

◎建築課 0238-26-6090

■「山形の宝」新規登録団体決定 <小国町、黒沢峠敷石道保存会>

山形県では、地域に残る有形無形の様々な文化財を保存・活用する取組みを「未来に伝える山形の宝」として登録・推進しております。このたび、新たに3団体が登録されましたが、このうちの1団体は、旧道「越後米沢街道・十三峠」の一つである黒沢峠に関し、敷石道を復活させる活動に取り組んでいる「黒沢峠敷石道保存会」(小国町、保科一三会長)であります。



12月20日に県庁で行われた交付式では、知事から新規3団体の代表者に登録証が手渡されました。越後米沢街道・十三峠は、山形から新潟へ抜ける貴重な街道として人や青芋などの物産の往来が活発でした。「黒沢峠敷石道保存会」は、地域の方が力を合わせて敷石道の姿を復活させ当時の様子を後世に伝えています。こうした活動が認められ、今年度の地域づくりのやまがた景観賞を受賞しています。今後も、黒沢峠敷石道を中心とした景観とこの地の歴史を後世へ引き継ぐ取組みに期待します。

「山形の宝」登録証の交付を受ける保科氏

◎総務課 0238-26-6006

トピックス 「山形グミおきたまデラウェア」開発・販売関係者が知事を表敬訪問

◎農業振興課 0238-26-6051

山形おきたま農業協同組合では、今年度、置賜地域の農産物を利用した新たな商品づくりに取り組んできました。このたび、第一弾として置賜産デラウェア果汁を使用したグミキャンディが商品化されました。

12月20日、山形おきたま農協の木村敏和代表理事組合長、共同開発した味覚糖株式会社の山田泰正代表取締役社長、販売で連携する株式会社ヤマザワの古山利昭代表取締役社長、パッケージデザインを作成した東北芸術工科大学の中山ダイスケ教授など関係者が知事を訪問し、商品開発と販売開始を報告しました。

このグミキャンディは、デラウェア特有の強い甘みと程よい酸味に加え、本来の香りを再現するとともに、魚由来のコラーゲンを使用し柔らかい食感に仕上げられています。ヤマザワの各店舗ほか、同農協の直売所などで販売しています。ぜひお試しください！





雪の中、初お目見えのシンボル車両

ばめたデザインになっています。

この車両は、イベント・企画列車として貸切で利用できるほか、テーブルを取り外し、通学等の用途で運行されています。

フラワー長井線のシンボル車両が完成し、1月14日、同車両内で関係者を集めて完成記念セレモニーが開催されました。

この日が初運行となったシンボル車両は、地域の食を提供できるよう飲食可能なテーブルを備え、また、地域の魅力を発信できるようステージ空間等が設けられています。また、外装は2市2町の繋がりをイメージしたマーク(花びら)を全面に散り



完成をお祝いしての乾杯！

冬の安全情報 雪害に注意しましょう

㊟総務課防災安全室 0238-26-6007

雪害事故防止週間 平成29年1月20日～2月5日

■屋根の雪下ろしや除雪作業における注意事項

直近5年間の県内の雪害事故で発生件数が最も多いのは、雪下ろし中の転落で、全体の約6割を占めており、特に高齢者が被害に遭うケースが多いようです。

慣れや過信、油断が事故を招きます。作業前に次の事故防止のポイントを確認しましょう。

■雪下ろし作業の事故防止の8つのポイント

- * 安全な服装での作業
- * 屋根の緩みに注意
- * 命綱を使いましょう
- * はしごはしっかり固定
- * 使いやすい道具を
- * 2人以上で作業を
- * 無理はしない
- * 足場の確認

■作業前には

- * 日頃の準備（建物の耐雪深確認、命綱等の手入れ）
- * 転落した際の被害軽減措置に建物周りに雪を残す

■除雪機使用時の事故防止のポイント

- * 安全装置の作動確認
- * 雪詰まりは、エンジンを止め、ローターが停止してから取り除く

安全な除雪作業のための装備の例

ヘルメットは正しく着用

命綱と安全帯
(専用フック付)

滑りにくい手袋

動きやすい服装(目立つ色)

靴底が滑りにくいゴム長靴



滑り止め金具のついたはしご

置賜総合支庁では、1月25日に「置賜総合支庁豪雪対策連絡会議」を設置し、雪害防止と生活道の確保等の対策対応について、管内市町と連携を図りながら行っていくことを確認しました。

事業報告 米沢ヘリポート不法侵入事案・航空機不法奪取事件対応訓練 ㊟建設総務課 0238-26-6099



ヘリポートを狙ったテロ事件に備え、関係機関の連携と有事の際には迅速に対応できるよう、12月6日、県が管理する米沢ヘリポートで不法侵入事案と航空機不法奪取事件への対応訓練を行いました。

訓練は、県、米沢市、米沢警察署、米沢消防署、指定管理者(東北警備保障株式会社)から計20名が参加して、爆発物を持った犯人がヘリポート内に侵入し、ヘリコプターに見立てた乗用車を奪い、パイロットを連れてくるよう要求したとの想定で行いました。不審者を発見してからの通報訓練、通報を受けてから現場への参集訓練、現地対策本部の設置訓練、ヘリポート内への車両誘導訓練、犯人の捕捉訓練を一連の流れの中で実施しました。

実際の緊急時においても迅速・確実に対処できるよう、今後もあらゆる事態を想定し、繰り返し訓練を実施していきます。

置賜全域のアートイベントAMO開催



この人に聞く

佐藤 嘉一

置賜文化フォーラム会長 / 米沢市芸術文化協会会長

“ARTS MEET OKITAMA”が3月18日～26日、ナセBA／よねざわ市民ギャラリーで開催されます。置賜3市5町全域と縁ある域外のアーティストたちの絵画・彫刻・写真・工芸・書道・その他の多彩なアートが出合うビッグイベントです。昨年7月の開館以来5万人を超えた入場者を数える広いギャラリーで、置賜に生き、置賜を気骨とした作家たちが自分の作品に込めたありったけの思いを発表し合います。幅広い世代とジャンルが集います。置賜の風土性に根ざし、またそうした地域性を越えた作家たちの精神や魂の多彩な色合いが響き合い、つくる側も見る側もきっと薫り高い美の空間のただなかに在ることの喜びにひたることができるでしょう。

AMO (ARTS MEET OKITAMA)は県の文化振興プランを受けて、次の3つのねらいで構成します。

親しむ 置賜全域の作家・多様なジャンルの作品の展示により、広域的な鑑賞の機会を提供し、新たな試みとして作品を販売する。

育む 多世代作家出品により文化継承の交流機会とし、置賜若手作家の登竜門となることをめざす場づくりを進める。

活かす 若手中心の文化活動(Book Book Okitama、ARTS SEED OKITAMA横町アートセッション等)などとの連携でアートフィールド置賜のブランド力創出につなげる。

私と同じ高齢者はたくさんいますが、30年前1万1千人いた米沢の小中学生は現在6,700人にまで減って

います。世の中の活力も減退気味です。ですが、この事業では若い衆にあおられて仕事するいい気分を味わっています。若手の元気でシニアアーティストも元気になりそうです。この事業はアートの力を置賜全域にみなぎらせる活動です。

ARTS
MEET
OKITAMA
2017



置賜地域で活動している作家等の作品を広く募集し、置賜のアートを一堂に展示します。

- 会期：3月18日(土)～26日(日)
- 会場：よねざわ市民ギャラリー
(米沢市丸中央1-10-6 ナセBA内)
- 主催：置賜文化フォーラム・米沢市芸術文化協会・よねざわ市民ギャラリー
- 主管：ARTS MEET OKITAMA 2017 プロジェクト
- お問合せ：よねざわ市民ギャラリー
TEL 0238-22-6400

お知らせ 2・3月の置賜文化ホールの催事情報

☎総務課連携支援室 0238-26-6019

平成28年度 置賜文化ホール自主事業

Jazz Café Live

～林宏樹 The Futureformers Group～

第40回上杉雪灯籠まつりによせて、「雪」「あかり」などをテーマに選曲する特別篇。

作編曲やラジオパーソナリティなど多方面に活躍するサクソプレイヤー林宏樹が率いるThe Futureformers Groupの演奏を、ドリンクとともにお楽しみください。



- 日時：2月9日(木)
18:30開場 19:00開演
- 会場：ミュージアム・カフェ「Culture (カルチュール)」
- 料金：全席自由 前売1,000円(当日1,500円)
※1ドリンク付き
- チケットの取扱い：伝国の杜
(米沢市丸の内1-2-1 TEL 0238-26-2666)

平成28年度 置賜文化ホール自主事業

「親子でたのしむ音楽会」

新庄市出身で二期会会員のソプラノ田中麻理などプロの音楽家たちが出演する音楽劇と、総勢75名の迫力ある管弦楽コンサート。

クラシック音楽の入門編として、親子で音楽会デビューしてみませんか。オーケストラの指揮者体験コーナーもあります。



- 日時：3月5日(日) 14:00開演
- 会場：置賜文化ホール
(米沢市丸の内1-2-1 TEL 0238-26-2666)
- 料金：全席自由前売500円
※中学生以下無料(要整理券。ただし、保護者の膝上で鑑賞する幼児は整理券不要)
- チケットの取扱い：伝国の杜、大沼米沢店、イオン米沢店、米沢楽器店、音楽アズム館、こまつ書店堀川町店

猫へのむやみなエサやりで、 ご近所迷惑となっていないですか？

猫に対するあなたの
優しいお気持ちは分かり
ます。

しかし、ご近所に猫に
よる糞尿などで迷惑が
かかっていることにも目
を向けてください。



また、むやみにエサをやってしまうと猫が集まり、仔猫が生まれ、次々猫が増え、不幸な運命をたどる悪循環を招いていることもご理解ください。

猫のことを本当に思うなら、飼い猫として室内で飼ってあげてください。それができないのであれば、エサを与えることはやめましょう。

猫を飼う時の最低限の注意事項

-  **避妊去勢手術**をする
不幸な猫を増やさないように努めてください。
-  **糞尿の掃除**をする
猫の糞尿に限らず、周辺美化に努めてください。
-  **置きエサ**はしない
食べ残しにカラスや害虫などが集まり、大変不衛生です。皿や水入れも片付けましょう。
-  **周辺住民の理解**を得る
猫の好きな方・嫌いな方を問わず、お互いにコミュニケーションをしっかりとってください。

保健だより アニサキス（寄生虫）による食中毒に注意！

アニサキスは寄生虫（線虫）の一種で、その幼虫はサバ、サンマ、カツオ、イナダ、イワシ、イカ、アジ等の魚介類に寄生します。この幼虫が寄生する魚介類を生食すると幼虫が胃壁等に刺入し、耐えがたい腹痛などを引き起こしますので、魚介類を生食用に調理する場合は十分にご注意ください。

症状

食後2～8時間後に、激しい腹痛、嘔気、嘔吐を起こします。
治療法は内視鏡による虫体の摘出以外にありません。

予防法

- ①冷凍する。（－20℃で24時間以上冷凍すると死滅）
 - ②新鮮な魚を選び、速やかに内臓を取り除く。内臓を生で食べない。
 - ③目視で確認して、アニサキス幼虫を除去する。
 - ④加熱する。（60℃では数秒で、70℃以上では瞬時に死滅）
- ※「酢じめ」等の調理やワサビなどの調味料では死滅しません。



胃粘膜に入り込んだアニサキス

生活衛生課 乳肉衛生管理担当・食品衛生担当 0238-22-3750・3740

知って得する情報 「冬の省エネ県民運動」省エネ・節電にチャレンジ

環境課 0238-26-6033

笑顔で省エネ県民運動・冬の省エネ県民運動

省エネ・再エネ・節電

平成28年度

家庭のアクション

家族団らん、笑顔で省エネ

冬の省エネ・節電にチャレンジ 実施期間：2016年11月～2017年2月

みんなで参加しよう！！

地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減のため、みんなで省エネに取組みましょう。

参加方法は簡単です！！

チラシに付いているハガキに、実践している取組みをチェックして報告してください。

報告いただいた方の中から抽選で素敵な賞品（省エネ賞）が当たります。
また、昨年同月と比較して、電気使用量を削減した場合には削減率にかかわらず「節電特別賞」にもご応募いただけます。
詳しくは最終ページをご覧ください。

取組み状況を「見える化」しました！

「県民省エネ節電所」稼働中！

詳しくは、パンフレット最終ページをご覧ください。

冬は、暖房器具等を使うことにより、電気の使用量が多くなる季節です。ちょっとしたことに気をつければ省エネ・節電はできます。

現在、県では多くの方に省エネ・節電に簡単に取組んでいただくため、「家庭のアクション」事業を実施しています。地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減のため、みんなで省エネにチャレンジしましょう。



「家庭のアクション」チラシは、総合支庁ロビーに設置しているほか、山形県地球温暖化防止活動推進センターのHP「家庭のアクション」からもダウンロードできます。

様々な取組みのヒントが掲載されているうえ、取組み報告者の方には、抽選で素敵な商品を進呈します。詳しくはチラシをご覧ください。

イベント情報

■おきたま雛回廊

置賜には、かつて米沢藩の藩士が江戸勤務を終えて戻ってくる際に、家族へのお土産として買い求めてきたというお雛様をはじめ、時代を映す多くのお雛様が伝わっており、今年も春の訪れを待つ2月より、各地の施設でその美しい姿をお楽しみいただけます。



展示施設や期間等、くわしくは置賜地域の観光施設等に設置している「山形おきたま冬のあった回廊」キャンペーンガイドブック、またはキャンペーン特設ホームページをご覧ください。

期間中、下記の3施設で、幼稚園児から小学校低学年ぐらいまでのお子様を対象に、簡単な着付けで、本格的なお雛様の姿になれる体験プラン「わたしもおひなさま」も行っています。

「わたしもおひなさま」実施施設・期間

- 上杉伯爵邸(米沢市)
2月13日～3月5日 ※2月25日を除く
- 文教の杜ながい小桜館(長井市) 2月7日～2月12日
- 川西町フレンドリープラザ(川西町) 2月25日
- 土礼味庵(川西町) 3月25日・3月26日

㊤山形おきたま観光協議会(観光振興室内)
0238-26-6046

■冬のおきたま 食の銘店めぐりスタンプラリー

「山形おきたま冬のあった回廊」キャンペーンに合わせて、冬のおきたまの食の銘店をめぐりスタンプラリーを開催中です！

参加店舗は、「おきたま食の応援団」グリーンフラッグ店舗約340店舗で、置賜全域での開催となっています。

ぜひスタンプラリーに参加し、みんなで“おきたまの農と食”を応援しましょう。



スタンプラリー概要

●期間

平成28年12月19日(月)～平成29年2月28日(火)

●応募方法

期間中、スタンプラリー参加店を利用して、リーフレット付属の応募ハガキに異なるお店のスタンプを集めて応募ください。

スタンプを3個集めてビンゴを完成させれば応募可能となり、ビンゴとなった列が増えるほど賞品がランクアップ！

※応募締切 3月1日(水)当日消印有効

●詳しくは、参加店舗等備え付けの専用リーフレット又は、「おきたま食の応援団」ホームページをご覧ください。

おきたま食の応援団

検索

㊤「おきたま食の応援団」(事務局:農業振興課)
0238-26-6051

お知らせ

リーフレット「ひきこもりさぽーと」をご活用ください

ひきこもりは、様々な要因によって社会的参加の場面がせままり、就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態を指し、内閣府の調査では全国で54万1千人と推計されています。

この度、置賜保健所では、ひきこもりの方をサポートする機関をまとめたリーフレットを作成しました。より多くの方にご活用いただけるよう、教育機関や支援機関だけでなく、スーパーやドラッグストア、ゲームセンター等にも置かせていただいています。

各機関の相談体制や連絡先等を掲載しておりますのでご活用ください。



㊤地域保健予防課 0238-22-3015

置賜保健所の本庁舎への移転について

置賜保健所では、医療、食品、動物愛護、子育て、難病、こころの健康、感染症予防等のご相談をお受けしております。利用者の利便性向上を図るため **平成29年4月1日から** 次の場所へ移転します。

(※検便等の検査を行う部門は現在の保健所庁舎に残ります。)

平成29年4月からの移転先・電話番号

■移転先

置賜総合支庁本庁舎 1・2階

(住所: 米沢市金池7丁目1番50号)

■電話番号

0238-26-6000 (総合案内)

※各担当の直通電話番号は変更ありません。



㊤保健企画課 0238(22)3000

お知らせ

3月は「自殺対策強化月間」



いのち 支える

3月は、自殺で亡くなる方が最も多くなるため、「自殺対策強化月間」と定められています。

全国の自殺者数は6年連続で減少しているものの、まだまだ2万人を超える人が自殺で亡くなっており、その数は交通事故による死亡者の6倍です。置賜地域でも毎年50人前後の方が自殺で亡くなっている状況です。

置賜保健所では自殺対策強化月間にあわせて、置賜総合支庁本庁舎、保健所ロビーに心の健康に関する資料やパンフレットを展示します。年度の変り目は、環境の変化等により、心と体のバランスを崩しやすくなります。この機会に、ご自身の心の健康について考えてみませんか。

また、置賜保健所では、精神科医や保健師による相談も行っております。お気軽にご相談ください。

気づき

家族や仲間の変化に気づいて、声をかける

傾聴

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

つなぎ

早めに専門家に相談するよう促す

見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

☎地域保健予防課 0238-22-3015

「高齢者のうつ病」について講演会を開催

ご高齢の方は、がんなどの身体疾患、家族や友人との死別、離職等の環境の変化、友人や家族等の心理的援助の不足等、うつ病やうつ状態につながる要因が多くなります。

また、高齢者のうつ病は、認知症と間違われやすく、年のせいと簡単に見過ごされやすい特性があります。

そこで、置賜保健所では置賜地域で暮らす県民の皆さんを対象に、高齢者のうつ病について学ぶため、講演会を開催します。



■日時: 3月2日(木) 13:30~15:30まで

■内容: 講演「高齢者のうつ病」

講師 三友堂病院 心療内科 灘岡壽英 氏

■場所: 置賜総合支庁 講堂

■参加費: 無料

■申込み: 2月24日(金)までに電話(0238-22-3015)でお申し込みください。

☎地域保健予防課 0238-22-3015

PM2.5について

近年話題となっているPM(ピーエム)2.5は、県内では冬から春にかけて高くなる傾向にあります。

このPM2.5とは、大気中を浮遊している直径2.5マイクロメートル程の非常に小さな粒子で、物の燃焼等により生じるとされ、他に土壌や火山などの自然由来、大陸からの越境によるものがあります。

PM2.5は、非常に小さいことから多量に吸い込むことにより、呼吸器系や循環器系の疾患を引き起こすリスクが高まるといわれています。

県では、自動測定機を13箇所に設置し24時間体制で監視を行っており、濃度が高くなることが予想される場合は、報道機関や市町村役場を通じて注意喚起を行うことになっています。その際、県民のみなさんには、不要不急な外出を控え

たり、屋外でのマスクの着用をお願いしています。特に呼吸器系や循環器系の疾患がある方、小児、高齢者は、体調に応じてより慎重な行動をお願いします。なお、情報はこちらからご覧いただけます。



出典: 米国環境保護庁

山形県の環境大気常時監視測定結果

http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/053001/joho/kankyo_taiki.html

☎環境課 0238-26-6035

「就職面接会in米沢」を開催します

～この地域で生きていこうと考えている全年齢の方へ～

■日時: 2月15日(水) 13:30~16:00

※求職者の方は14:30までの入場にご協力ください

■会場: グランドホクヨウ(米沢市金池2-3-7)

■参加企業:

ハローワーク米沢管内に事業所がある企業(50社予定)

◎企業プレゼンテーションがお聞かせいただけます。

13:30~ プレゼンテーションがスタート

■対象者: ・全年齢の一般求職者

・平成29年3月大学等卒業予定者

・UIターン希望者

■主催: ハローワーク米沢、山形労働局、米沢商工会議所

■共催: 置賜地区雇用対策協議会

米沢市、南陽市、高畠町、川西町

■お問合せ先: ハローワーク米沢 TEL 22-8155

☎米沢商工会議所 0238-21-5115

発行元

置賜総合支庁 総務企画部
総務課 総務係

TEL 0238(26)6004

FAX 0238(24)1402

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

に見学してながら研修する飼養管理加算者等



いま・ここ・おきたま

置賜地域は、全国トップブランド「米沢牛」の産地です。農業振興課では、米沢牛の生産拡大を図るため若手生産者を対象に「おきたまスーパー和牛塾」を開催しています。

大規模畜産経営者や先進的な繁殖農家から親牛の管理や子牛育成のポイント等について学ぶ機会をつくり、若手生産者の生産技術の向上を支援しています。(農業振興課)